

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

株式会社トマト銀行（証券コード:8542）

【据置】

長期発行体格付
格付の見通し

BBB+
安定的

■格付事由

- 岡山市に本店を置く資金量1.2兆円の第二地方銀行。県内の貸出金シェアは1割強を占める。格付には相応の資本充実度や分散の効いた貸出ポートフォリオへの評価などを反映している。一方、コア業務純益（投信解約損益を除く）はこの数年で回復を見せているが、長期的にみれば高いとは言えない。コア業務純益を一段と高めていけるかが格付上のポイントである。
- ROA（コア業務純益ベース）は0.2%台前半と低いものの、格付「BBB+」の地域銀行の中でみると遜色ない。コア業務純益は19/3期をボトムに回復傾向にある。貸出関連手数料を中心とする役務取引等利益の増加、人員減を背景とした経費の減少が主因である。当面、利回りの高いコロナ関連融資の返済や、預金金利の引き上げに伴う調達コストの増加などが収益の下押し要因となる見込み。取引の採算性をより重視して融資に取り組む方針の下、預貸金利ざやを改善し金利収益を拡大していけるか、また、地元中小企業への本業支援の取り組みにより着実に拡大している顧客基盤を、非金利収益の増加につなげていけるかが注目点である。
- 金融再生法開示債権比率は上昇傾向にあり、24年3月末3%程度とやや高い。もっとも、保証等による保全が厚く、総与信対比でみた分類債権の比率は比較的低い水準となっている。貸出ポートフォリオは小口分散が効いており、与信費用は概ね落ち着いた水準で推移している。ただ、24/3期は与信先の業況悪化などにより上振れた。インフレや人手不足など中小事業者にとって厳しい環境が続く中、与信費用を抑制していけるか確認していく。
- 有価証券投資にかかるリスクは抑制されている。預証率は10%台前半と低位で推移しており、かつリスクの高い資産への投資には慎重である。円建債券がポートフォリオの太宗を占めるが、円金利のリスク量はコア資本対比で小さい。国内外の金利上昇を受け円建債券や投資信託は評価損の状態にあるが、株式の評価益でカバーされており、その他有価証券全体では評価益を確保している。
- 24年3月末の連結コア資本比率は8%台半ば。優先株式の資本性などを調整した実質ベースでも8%弱と、格付に概ね見合う水準にある。もっとも、優先株式を含めた配当が当期純利益の4~5割に相当しており、内部留保の蓄積は緩やかなものにとどまっている。基礎的な収益力の向上を通じ内部留保の蓄積速度を高め、調整後のコア資本比率を改善していけるか注目していく。

（担当）南澤 輝・古賀 一平

■格付対象

発行体：株式会社トマト銀行

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	BBB+	安定的

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2024年7月17日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：宮尾 知浩
主任格付アナリスト：南澤 輝
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2024年2月1日）、「銀行等」（2021年10月1日）として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 株式会社トマト銀行
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいで行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル